

# 政令指定都市の子どもたちの姿や思いを探る

## 政令指定都市教育研究所連盟の共同研究とは？

政令指定都市の子どもの実態把握を通して、教育の今日的課題を解明し、学校・家庭・地域社会における教育の在り方について提言してきました。

昭和38年から基本的に3か年を1次として研究し、今回で16次となる共同研究です。

第16次共同研究の見どころは次の二つです。

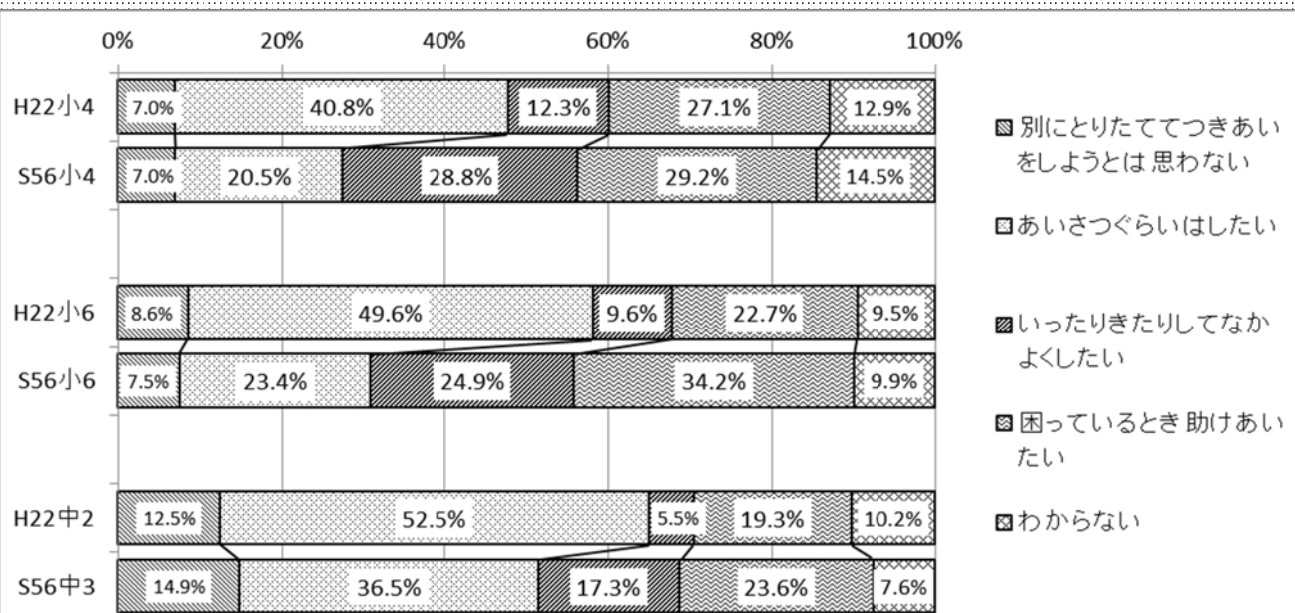


- 1 「子どものやる気」「子どもの耐性」「子どもの人間関係」の三つの視点から第6次共同研究（昭和56年【30年前】）の子どもたちと、今を生きる子どもたちの姿や思いの変容を明らかにしました。
- 2 第14次（平成15～17年）、第15次（平成18～20年）との経年比較を行い、子どもたちの姿や思いの変化の様子を探りました。

上記の二つを受け、今後の教育活動の在り方や、学校・家庭・地域社会における取組の方向性について提言しました。

## 子どもの地域とのかかわりは「広く」「浅く」なっています

☆下のグラフは、「地域とのつきあい」について第6次共同研究（昭和56年【30年前】）の調査と比較したものです。



「あいさつぐらいはしたい」と回答した割合は、大幅に増加しています。一方、「いったりきたりしてなかよくしたい」と回答した割合は、大幅に減少しています。

### 提言!

子どもが望んでいる地域とのかかわりは、「なかよくしたい」「助けあいたい」から「あいさつ程度」に変わってきています。子どもが協力・共同して社会を形成する必要性を学ぶことができるよう、地域との交流を深め、積極的にかかわっている姿を子どもに示しましょう。

詳細につきましては、各指定都市教育研究所（教育センター）にお問い合わせください。



# 子どもの意識や思いは改善されてきています

生活や学習への肯定的な意識が6年間でどのように変化したのか、今回調査したものと6年前のデータ〔第14次(平成16年)〕を比較しました。その結果、3ポイント以上増加した項目が多くなっています。この概要版では、紙面の都合で47の設問中顕著な変化が見られた20問について示しました。詳細につきましては、各指定都市教育研究所(教育センター)にお問い合わせください。

【数値は、肯定的意見の割合の差】

No	調査項目	小学校4年生	小学校6年生	中学校2年生
家庭での生活	1-1 元気に生活していますか。	0.5	1.6	1.3
	1-2 次の日に学校があるとき、だいたい何時頃までに寝ますか。(小10時, 中11時まで)に就寝する割合)	6.5	6.6	9.4
	1-3 学校のある日、朝食を食べますか。	2.2	2.8	4.6
	1-4 家での生活が楽しいですか。	1.0	3.1	6.4
	1-9 近所の人とあいさつをしていますか。	2.4	2.3	0.4
	1-10 地域の行事や活動(お祭り, レクリエーション, スポーツ, 奉仕活動など)に参加していますか。	0.8	3.2	6.5
家庭での学習	2-1 学校のある日、だいたいどのくらい家で勉強していますか。(1時間以上勉強している割合)	3.6	3.4	4.8
	2-3 家で勉強することは必要だと思いますか。	0.6	0.0	3.0
	2-8 学校以外での勉強や習いごとなどが、社会に出たとき、役に立つと思いますか。	0.7	1.9	1.7
学校での生活	3-1 学校生活が楽しいですか。	1.8	1.7	2.4
	3-2 学校生活の中で、忘れ物をすることがありますか。	0.8	0.3	-2.6
	3-5 困ったり、悩んだりしたとき、相談できる友だちが学校にいますか。	3.8	5.0	4.2
	3-7 あなたの学級の担任の先生は、あなたの話を聞いてくれていると思いますか。	4.4	5.0	4.4
	3-9 学校生活の中で、まわりの人の役に立ったと思うことがありますか。	1.0	6.2	10.1
	3-10 学校生活の中で、まわりの人から信頼されていると思いますか。	4.1	5.0	9.0
学校での学習	4-1 学校の授業がわかりますか。	-0.6	0.5	3.9
	4-2 学校の授業が楽しいですか。	4.5	7.3	10.5
	4-3 授業中、進んで学習に取り組んでいると思いますか。	1.5	6.3	9.6
	4-4 あなたの学校の先生たちは、わかるまで教えてくれていると思いますか。	1.8	2.2	4.1
	4-10 学校で学習していることが、社会に出たとき、役に立つと思いますか。	0.1	2.9	4.2

+3~+5.9ポイント
 +6~+8.9ポイント
 +9ポイント以上

## 調査結果を活用してみませんか

### <学校では…>

- この概要版を活用し、校内研修の資料として
- 学校説明会や保護者会、家庭教育学級での話題提供の資料として
- 独自のアンケート調査を実施する際に、調査項目を作成する参考として

### <地域では…>

- 市民講座や講演、町内会、老人クラブ等、市民からの要請に基づく出前講座、座談会(テーマ例:「子どもの姿や思いを探る」)の資料として

### <家庭では…>

- PTAの研修会等における生活習慣・学習習慣に関する話題として
- 子ども理解を更に深めるための参考資料として

